

2012年3月期 決算説明会 プレゼンテーション資料

2012年5月31日

東証一部 証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

I. 2012年3月期 決算の概要

1. 決算概要
2. 決算ハイライト(個別)
3. 部門別の概況
4. 貸借対照表(個別、連結)
5. キャッシュ・フロー

II. 2013年3月期 業績見通し

1. 業績見通し(個別、連結)
2. 配当

III. 今後の戦略

1. 事業の変遷
2. 子会社イズミ(株)の概要
3. 当社の成長戦略
4. 既存3事業の成長戦略
5. 今後のグループ経営

参考資料

- ・会社概要
- ・主な製商品
- ・用語集



I. 決算の概要

1. 2012年3月期 決算概要

● 経営環境

- 景気回復の兆しが見られたものの下押しリスクが多く存在し、先行き不透明な状況下でスタート

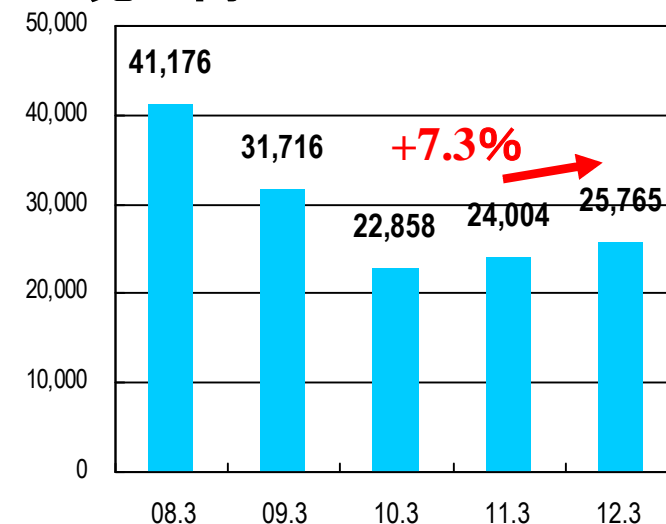
→ 期初予想は「減収減益」

- 円高影響はややプラスに働く

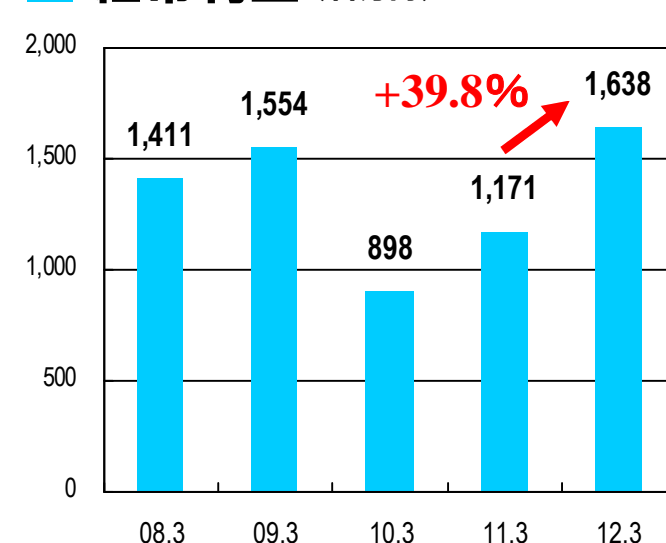
● 決算概要

- 増収増益
- 東日本大震災後の復興協力によるプラス要因あり

■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



2. 2012年3月期 決算ハイライト (個別)

(単位:百万円・%)

	前期 (2011年3月期)		当期 (2012年3月期)		前年対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	24,004	100.0	25,765	100.0	1,760	7.3
資源・金属素材関連	14,762	61.5	16,034	62.2	1,271	8.6
産機・建機関連	7,895	33.6	7,746	30.1	△148	△1.9
環境設備関連	1,342	4.9	1,964	7.6	621	46.3
その他	4	0.0	20	0.1	15	333.9
売上総利益	4,042	16.8	4,774	18.5	732	18.1
販売費及び一般管理費	2,874	12.0	3,144	12.2	270	9.4
営業利益	1,168	4.9	1,630	6.3	462	39.6
営業外収支	3	0.0	7	0.0	5	166.7
経常利益	1,171	4.9	1,638	6.4	467	39.8
特別利益	7	0.0	9	0.0	2	32.3
特別損失	32	0.1	26	0.1	▲6	▲18.8
税引前当期利益	1,146	4.8	1,621	6.3	475	41.4
当期純利益	656	2.7	870	3.4	213	32.5
1株当り当期純利益(円)	57.33		77.65		20.3	35.4
1株当り配当金(円)	11.00 中間4.0円 期末7.0円		15.00 中間 5.0円 期末 10.0円		4	36.4

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- ジルコンサンドの売上増でフェロニッケルの売上減を吸収し、新商材の拡販も寄与し増収。

【フェロニッケル】 台湾向商流の終了もあり、大幅減。

【ジルコンサンド】 数量、価格ともに前年を上回り売上増。

【その他の商品】 輸入原料や金属シリコンが大幅増で10億円超の売上。

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
フェロニッケル	8,549	6,163	△2,385	△27.9	8,549	6,163	△2,385	△27.9
ジルコンサンド	2,921	4,982	2,061	70.5	3,037	5,067	2,030	66.8
チタン原料	921	1,768	847	91.9	959	1,747	788	82.2
輸入原料	902	1,212	310	34.3	908	1,208	219	33.0
金属シリコン	982	1,203	220	22.4	1,067	1,307	239	22.4
クローラークレーン	66	181	114	172.9	81	182	100	123.5
その他商品	417	521	103	24.7	389	524	135	34.6
合計	14,762	16,034	1,272	8.6	14,993	16,202	1,209	8.0

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産機が順調に推移したものの建機不振により
売上・受注ともに減少。

【産機】 ワーマンポンプが本体・部品とも順調に推移し、売上・受注ともに増加。

【建機】 シールド掘進機は、円高の影響で海外向けの販売苦戦、大幅減。

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
ワーマンポンプ	2,965	3,397	432	14.5	3,052	3,309	256	8.4
ヒドロスタルポンプ	1,463	1,442	△20	△1.4	1,448	1,470	21	1.4
その他ポンプ	476	504	28	5.8	522	491	△31	△5.9
その他産業機械	995	962	△32	△3.2	1,035	980	△54	△5.3
産業機械 計	5,900	6,306	406	6.8	6,059	6,251	191	3.1
シールド掘進機	1,559	973	△586	△37.5	1,577	774	△803	△50.9
その他建設機械	435	466	30	6.9	435	463	27	6.3
建設機械 計	1,995	1,439	△555	△27.8	2,013	1,237	△775	△38.5
合計	7,895	7,746	△148	△1.8	8,072	7,489	△583	△7.2

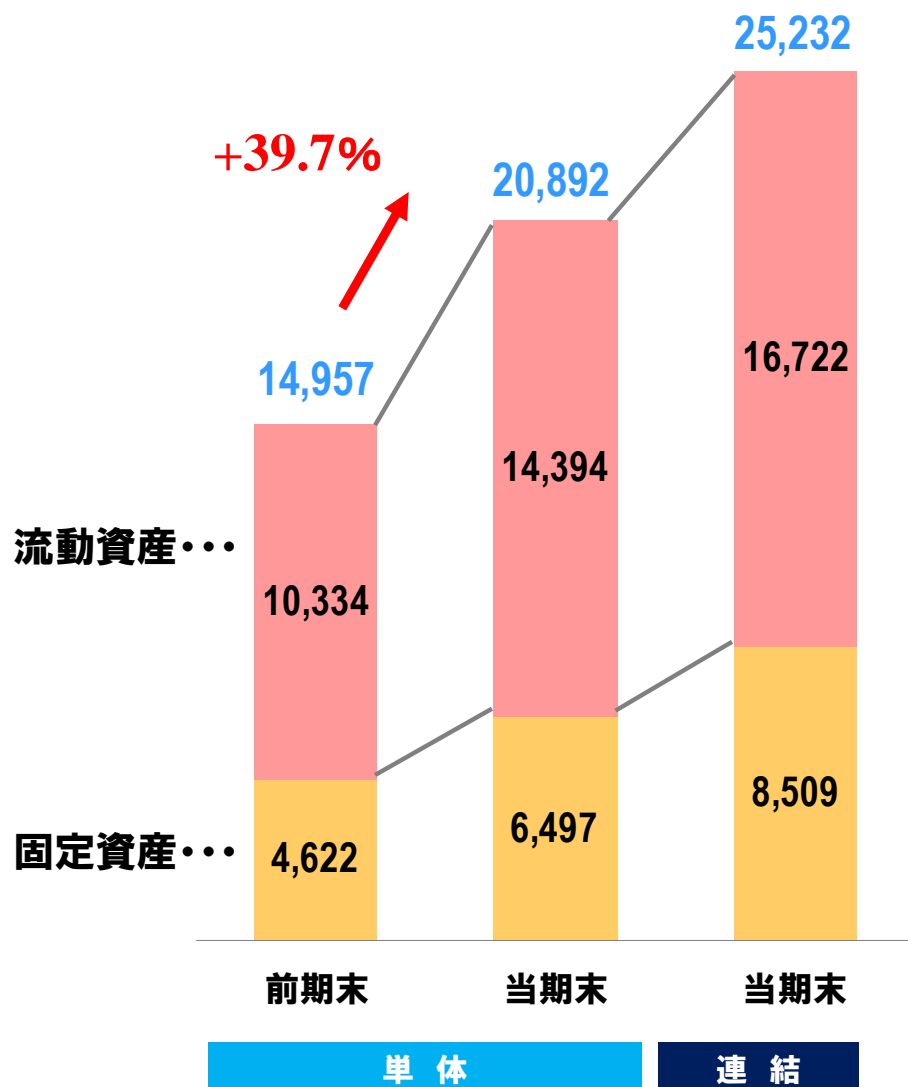
3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備(ラサシステム)が大型案件の売上計上で大幅増。

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	471	1,070	599	127.1	536	454	△81	△15.2
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	598	584	△14	△2.4	463	604	141	30.4
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	272	309	36	13.5	225	310	85	37.8
合計	1,342	1,964	621	46.3	1,224	1,369	144	11.8

4. 貸借対照表 ①資産の部



個別 主な変動要因

【流動資産】

- 現金及び預金が減少 (2,564 → 1,750)
- 受取手形が増加 (1,864 → 2,314)
- 売掛金が増加 (3,715 → 5,690)
- 商品及び製品が増加 (1,922 → 4,335)

【固定資産】

- 有形固定資産が増加 (建物 192 → 1,151)
- 投資その他の資産が増加 (子会社株式 — → 1,470)

連結 主なポイント

【個別との比較】

流動資産 + 2,327

固定資産 + 2,012

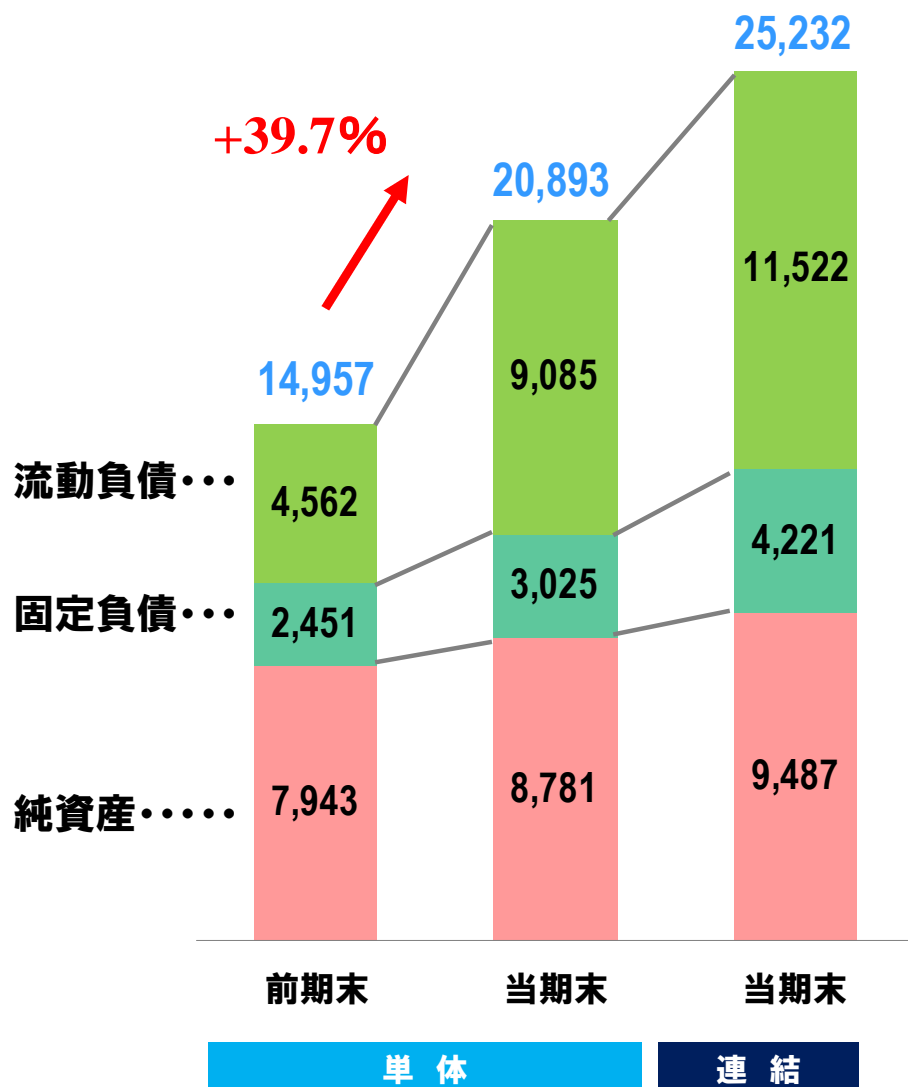
資産合計 + 4,339

【土地】

個別 (2,044)

連結 (4,399)・・・評価益1,258を含む

4. 貸借対照表 ②負債・資本の部



個別 主な変動要因

【流動負債】

- 支払手形が増加 (1,673 → 2,275)
- 買掛金が増加 (1,203 → 3,015)
- 短期借入金が増加 (124 → 2,099)

【固定負債】

- 社債が増加 (1,610 → 2,170)
- 長期借入金が増加 (220 → 316)

【純資産】

- 利益剰余金が増加 (4,853 → 5,589)

連結 主なポイント

【個別との比較】

流動負債	+	2,437
固定負債	+	1,196
純資産	+	705
資産合計	+	4,339

- 繰延税金負債 (435)
- 少数株主持分 (266)

4. 貸借対照表 ①資産の部(連結)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	—	—	16,722	66.3	—	—
現金及び預金	—		2,051		—	—
受取手形	—		2,837		—	—
売掛金	—		6,978		—	—
商品及び製品	—		4,428		—	—
その他	—		428		—	—
固定資産	—	—	8,509	33.7	—	—
有形固定資産	—	—	6,114	(24.2)	—	—
土地	—		4,399		—	—
建物	—		1,532		—	—
その他	—		183		—	—
無形固定資産	—	—	257	(1.0)	—	—
投資その他資産	—	—	2,137	(8.5)	—	—
投資有価証券	—		1,437		—	—
その他	—		699		—	—
資産合計	—	—	25,232	100.0	—	—

4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(連結)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	—	—	11,522	(45.7)	—	—
支払手形	—		2,981		—	—
買掛金	—		4,130		—	—
短期借入金	—		2,061		—	—
1年内返済予定の長期借入金	—		311		—	—
1年内償還予定の社債	—		680		—	—
未払金	—		306		—	—
未払法人税等	—		563		—	—
その他	—		1,490		—	—
固定負債	—	—	4,221	(16.7)	—	—
社債	—		2,274		—	—
長期借入金	—		915		—	—
退職給付引当金	—		505		—	—
繰越税金負債	—		435		—	—
その他	—		92		—	—
負債合計	—	—	15,744	62.4	—	—
株主資本	—		9,188	(36.4)	—	—
その他の包括利益累計額	—		32		—	—
少数株主持分	—		266		—	—
純資産合計	—	—	9,487	37.6	—	—
負債純資産合計	—	—	25,232	100.0	—	—
自己資本比率(%)	—	—	36.5	—	—	—

4. 貸借対照表 ①資産の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	10,334	69.1	14,395	68.9	4,060	39.3
現金及び預金	2,564		1,750		△814	△31.8
受取手形	1,864		2,314		450	24.2
売掛金	3,715		5,690		1,974	53.1
たな卸資産	1,922		4,335		2,397	124.7
その他	268		304		54	20.1
固定資産	4,622	30.9	6,497	31.1	1,875	40.6
有形固定資産	2,953	(19.7)	3,316	(15.9)	362	(12.2)
土地	2,044		2,044		—	0.0
建物	192		1,151		959	498.9
建設仮勘定	641		—		△641	—
その他	74		121		47	63.5
無形固定資産	98	(0.7)	128	(0.6)	29	(30.2)
投資その他資産	1,570	(10.5)	3,053	(14.6)	1,482	(94.4)
子会社株式	0		1,470		1,470	—
その他	1,570		1,582		12	0.8
資産合計	14,957	100.0	20,892	100.0	5,936	39.7

4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末		当期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	4,562	30.5	9,085	43.5	4,522	99.1
支払手形	1,673		2,275		602	36.0
買掛金	1,203		3,015		1,812	150.6
短期借入金	124		2,099		1,975	1591.0
1年内償還予定の社債	380		640		260	68.4
未払金	462		121		△341	△73.8
その他	718		935		217	30.2
固定負債	2,451	16.4	3,025	14.5	573	23.4
社債	1,610		2,170		560	34.8
転換社債型新株予約権付社債	75		0		△75	—
長期借入金	220		316		96	43.8
退職給付引当金	500		447		△53	△10.6
その他	45		91		45	100.0
負債合計	7,014	46.9	12,111	58.0	5,096	72.7
純資産合計	7,943	53.1	8,781	42.0	839	10.6
負債純資産合計	14,957	100.0	20,892	100.0	5,936	39.7
自己資本比率(%)	53.1	—	42.0	—	△11.1	—

5. キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	前期	当期	当期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	1,197	△1,285	税引前当期純利益 1,621 売上債権の増加 △2,392 たな卸資産の増加 △2,412 仕入債務の増加 2,456 法人税等の支払 △626
投資キャッシュ・フロー	△533	△2,286	有形固定資産取得 △770 関係会社株式取得 △1,470
財務キャッシュ・フロー	△995	2,757	短期借入金の借入 4,150 短期借入金の返済 △2,250 長期借入金の借入 300 長期借入金の返済 △128 社債の発行 1,200 社債の償還 △380 配当金の支払 △134
換算差額	—	—	
増減	△331	△814	
期首残高	2,895	2,564	
期末残高	2,564	1,750	



II. 2013年3月期業績見通し

1. 業績見通し

● 売上高は減、販売費及び一般管理費圧縮するも減益見通し。

(単位:百万円・%)

	(個別) 2012年3月期 実績	(個別) 2013年3月期 予想	(連結) 2013年3月期 予想	(個別) 増減	(個別) 増減率
売上高	25,765	23,000	32,500	△2,765	△10.7
資源・金属素材関連	16,034	13,350	13,350	△2,684	△16.7
産機・建機関連	7,746	7,750	7,750	4	0
環境設備関連	1,964	1,850	1,850	△114	△5.8
化成品関連	—	—	9,420	—	—
不動産賃貸関連	20	50	130	30	150.0
売上総利益	4,774	4,300	4,750	△474	△9.9
販売費及び一般管理費	3,144	2,970	3,400	△174	△5.5
営業利益	1,630	1,330	1,350	△360	△18.4
経常利益	1,638	1,330	1,350	△308	△18.8
当期純利益	870	750	777	△120	△13.8
1株当り当期純利益(円)	77.65	65.79	68.47		

2. 配当

● **当期実績** 前期より4円増配 **11円 ⇒ 15円**

【中間】4円 ⇒ 5円 【期末】7円 ⇒ 10円

● **今期予想** **15円**

【中間】7.5円 【期末】7.5円

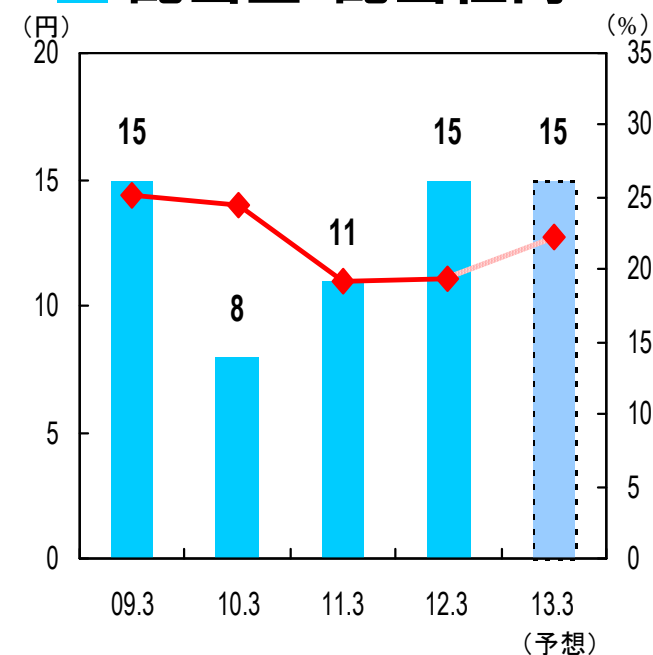
● 配当方針

- **安定配当を行なうこと**
- **配当性向20%前後を維持すること**

【当期実績】 **19.3%**

【今期予想】 **22.8%**

■ 配当金・配当性向

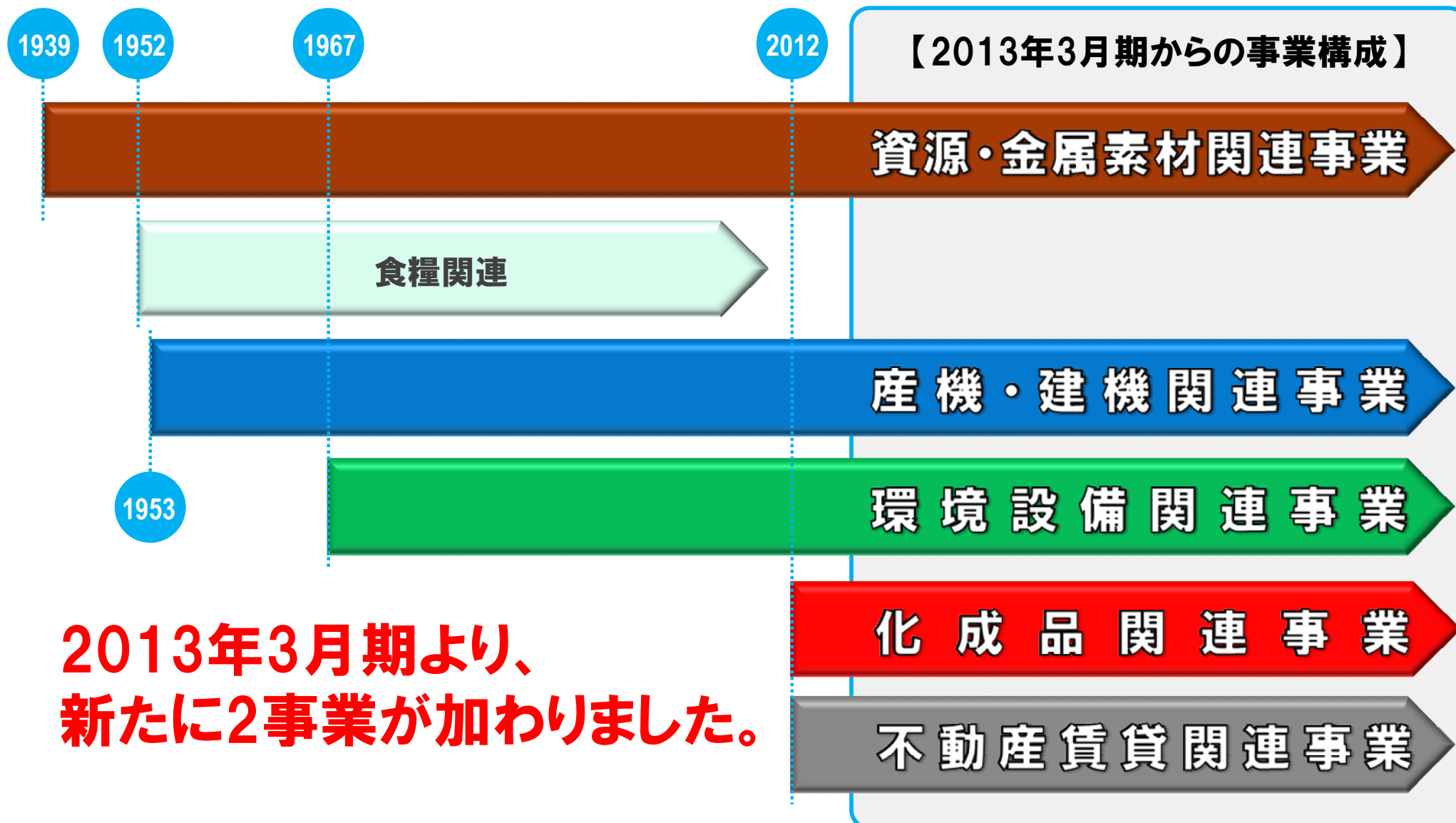


2012年3月期 決算説明会



III. 今後の戦略

1. 事業の変遷 ①事業拡大の推移



2013年3月期より、
新たに2事業が加わりました。

1. 事業の変遷 ②2事業が加わった経緯

【2013年3月期からの事業構成】

資源・金属素材関連事業

産機・建機関連事業

環境設備関連事業



化成品関連事業

不動産賃貸関連事業

化成品関連

- イズミ(株)の子会社化(2012年1月)



「ラサ商事グループ」
連結経営スタート

不動産賃貸関連

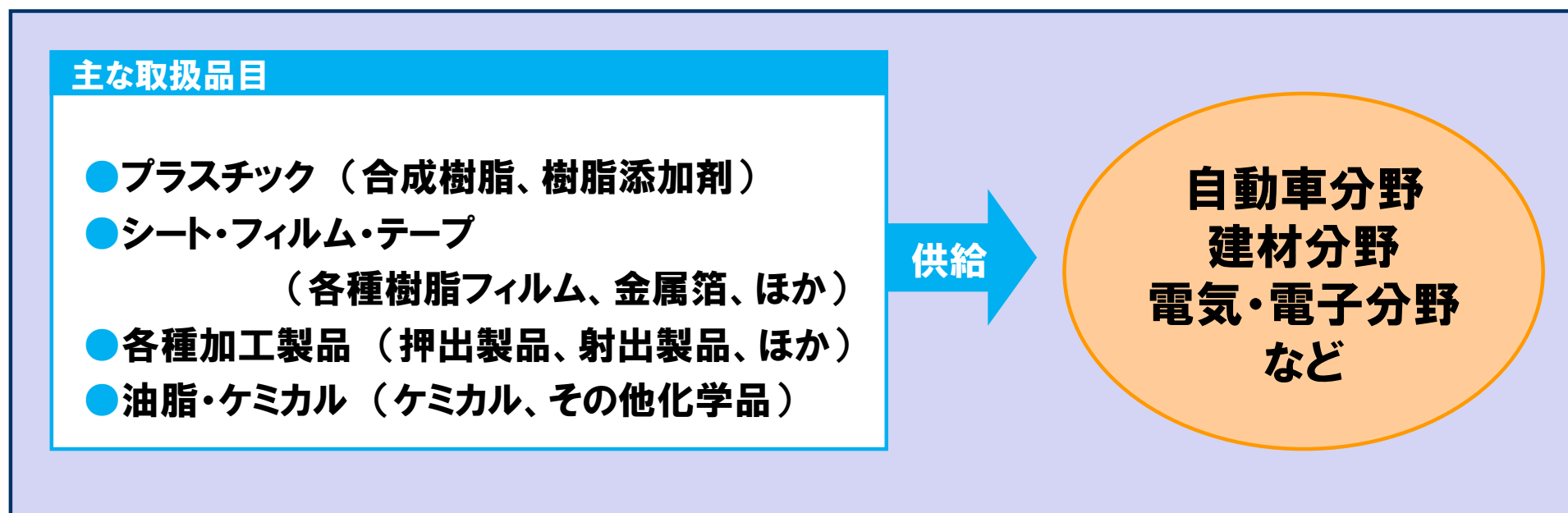
- 本社屋竣工、一部賃貸開始(2011年10月)
- イズミ(株)の賃貸不動産



グループ保有不動産の有効活用を
効率的に行うための事業部門を新設

2. 子会社イズミ(株)の概要 ① 特徴

- 合成樹脂、ケミカルズの専門商社として、様々な業界に素材を供給



- 飯能(埼玉県)にメーカー部門を有し、様々な樹脂の混練加工製造を展開

2. 子会社イズミ(株)の概要 ②【ご参考】決算の概要

【ご参考】イズミ(株) 2012年3月期 決算概要 *未監査の数値

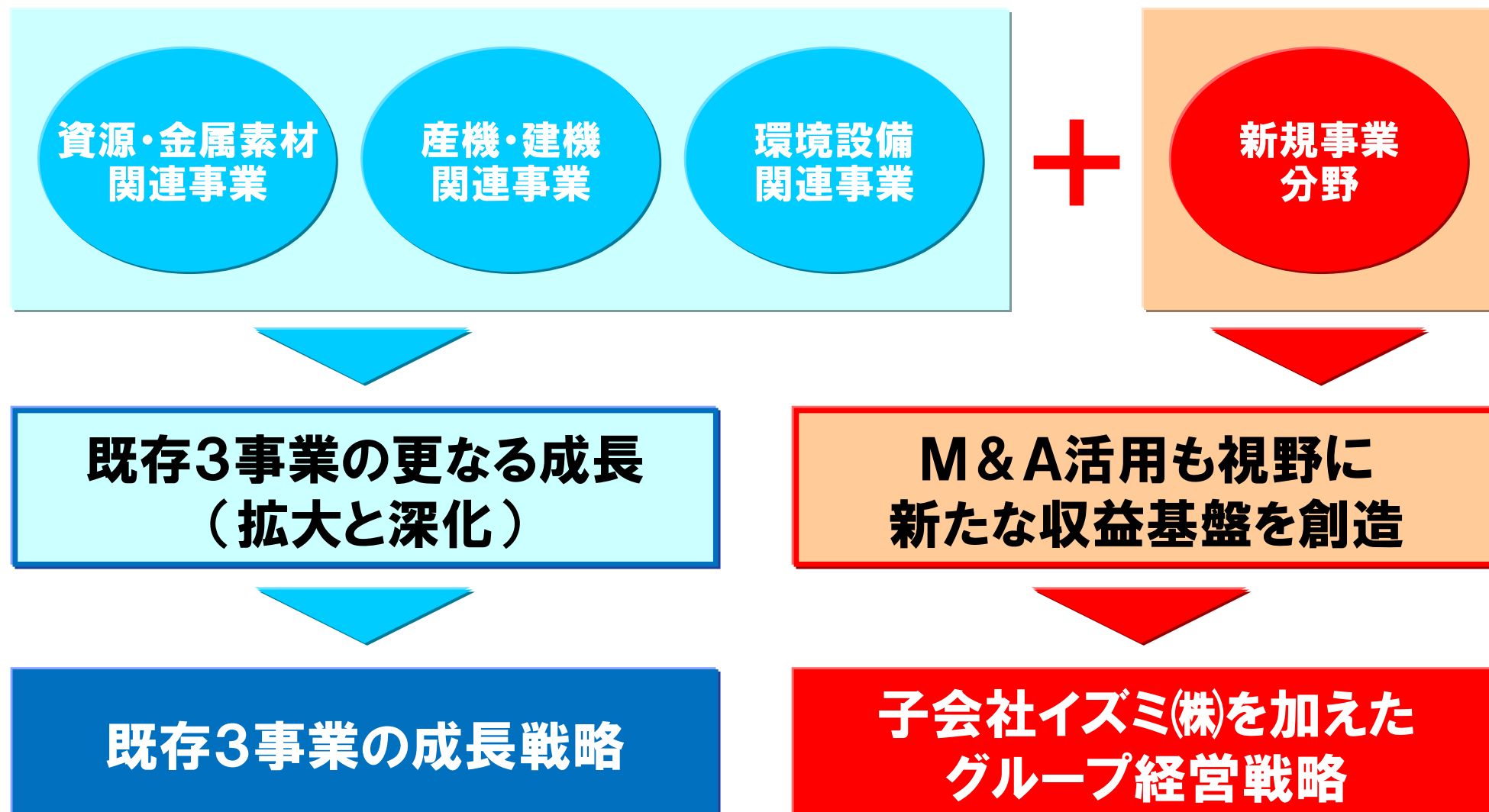
(単位:百万円・%)

	前期 (2011年3月期)	当期 (2012年3月期)	前年対比	
	金額	金額	増減	増減率
売上高	9,640	9,988	347	3.6
売上総利益	556	516	△39	△7.1
営業利益	169	27	△141	△83.7
経常利益	88	7	△81	△91.8
当期純利益	56	△128	△184	△329.2
1株当り当期純利益(損失)(円)	420	△964	△1,384	△329.2
1株当り配当金(円)	40	25	△15	△37.5

- 販管費に、従来引当てをしていなかった退職給与引当金、賞与引当金を計上(82)
- 特別損失として役員退職金給与引当金を計上(173)

3. 当社の成長戦略

更なる飛躍を目指し、「**安定性**」+「**成長性**」を兼ね備えた経営基盤の構築へ



4. 既存3事業の成長戦略 ①資源・金属素材関連

- 輸入原材料の高付加価値化
- エネルギー用途原料への注力
- 中国、東南アジア諸国、インドの市場拡大

■ 今後の展開

- ジルコン、金属シリコン、黒鉛などの製品の高付加価値化
- 火力発電、太陽電池、リチウムイオン電池、風力発電向けなどのエネルギー用途素材の原料供給への本格的取り組み
- 中国向け高付加価値原料の輸出、脱中国へ対応したサプライソースの開拓、日本マーケットの縮小に対応して中国、東南アジア諸国、インド市場の拡大



▲金属シリコン

4. 既存3事業の成長戦略 ②産機・建機関連

- **ポンプを中心とした新商品の育成**
- **海外市場の拡大**
- **メンテナンスサービス体制の一層の充実**

■ 今後の展開

- **海外市場の拡大**
⇒ 中国、東南アジア、米国、インドなどへの営業強化
- **メンテナンスサービス体制の一層の充実**
⇒ 当社の安定的な収益基盤、一層のサービス拡大・業務の効率化



▲ワーマンポンプ

4. 既存3事業の成長戦略 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備「ラサ・システム」販売先の拡大および新技術開発
- スラグ処理の販路拡大
- 海外主要機械メーカーとの提携で環境改善に貢献

■ 今後の展開

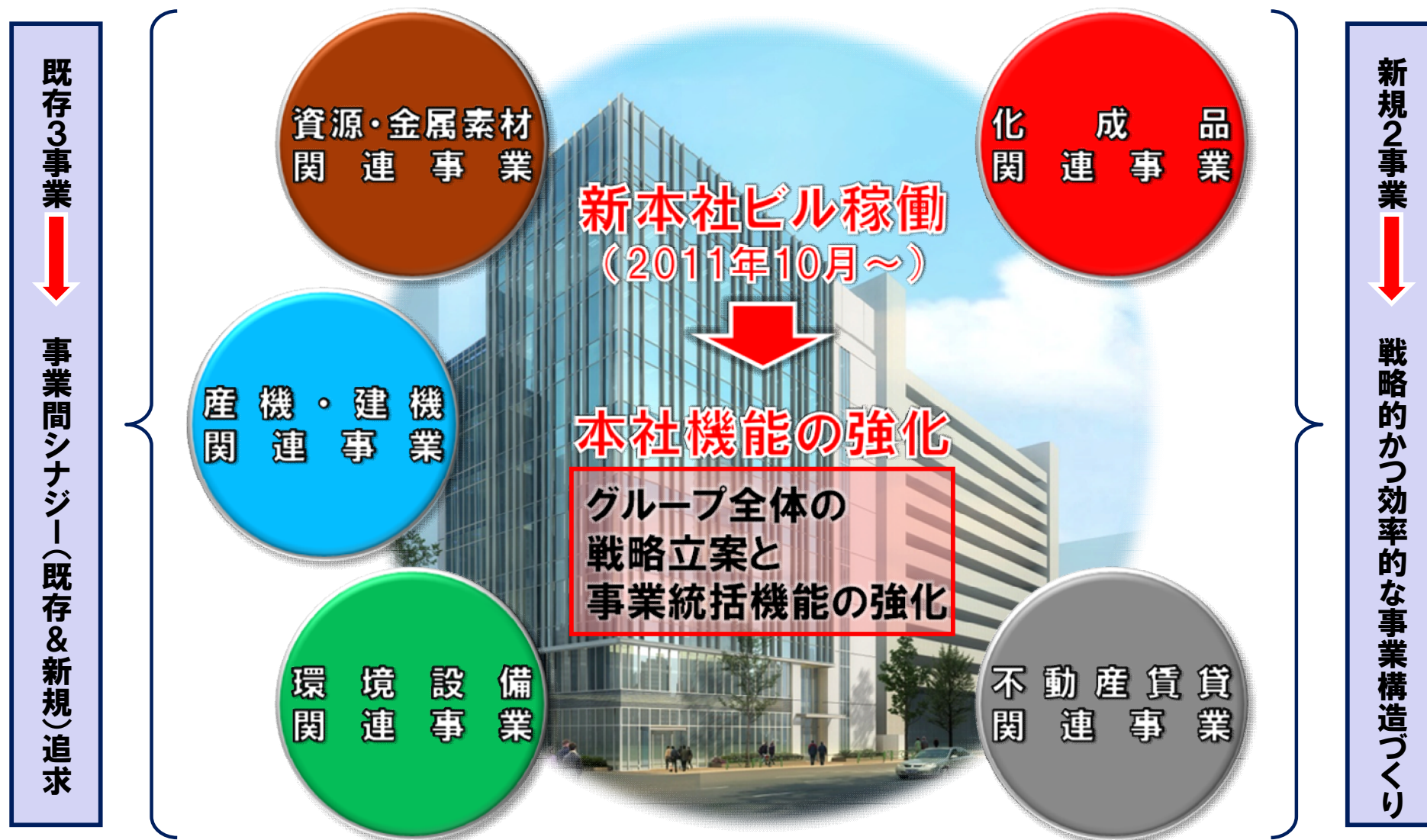
- IGCCに関し、勿来での実証機での実績を踏まえ引合増加(国内・海外とも)
⇒ クリーンなエネルギーで発電効率も高いIGCCへの注目が高まる

IGCCの特徴

従来の石炭火力発電より
発電効率が高い

CO2の排出量が
大幅に削減

5. 今後のグループ経営 ①本社機能の強化



5. 今後のグループ経営 ②体制の構築に向けて

2012年1月 イズミ(株)を子会社化

2012年4月～
フル連結による新たなグループ経営スタート

2013年3月期
(2012.4～2013.3)

2014年3月期
(2013.4～2014.3)

2015年3月期
(2014.4～2015.3)

イズミ(株)の体制整備・強化

- ・イズミ(株)の経営及び事業把握
- ・事業運営体制の見直し(整備・強化)

グループシナジー創出への取り組み

- ・両社の商品およびネットワークの相互活用による、売上・利益の拡大
- ・管理部門コスト、金融コスト等の効率化

グループ経営体制の構築

- ・経営戦略、施策の一本化
- ・グループ価値最大化のための体制づくり

● 注意事項

当資料に記載された内容は、2012年5月30日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、お客様ご自身がなされるよう、お願いいたします。


● IRに関する問い合わせ先

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号
RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232(経営企画室)

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。

2012年3月期 決算説明会



参考資料

会社概要

社名	ラサ商事株式会社
設立	1939(昭和14)年1月
本社	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング
代表者	代表取締役社長 井村 周一
資本金	1,854百万円(2012年3月31日現在)個別
売上高	25,765百万円(2012年3月期)個別
経常利益	1,638百万円(2012年3月期)個別
当期純利益	870百万円(2012年3月期)個別
従業員数	連結/239名 個別/194名 (2012年3月31日現在)
事業内容	資源・金属素材関連、産機・建機関連、環境設備関連の 3事業を柱にグローバル展開する専門商社
主な仕入先	海外の鉱山会社、国内外の機械・電機・素材メーカー等
主な販売先	国内外の製造業・建設業、エンジニアリング会社、官公庁等

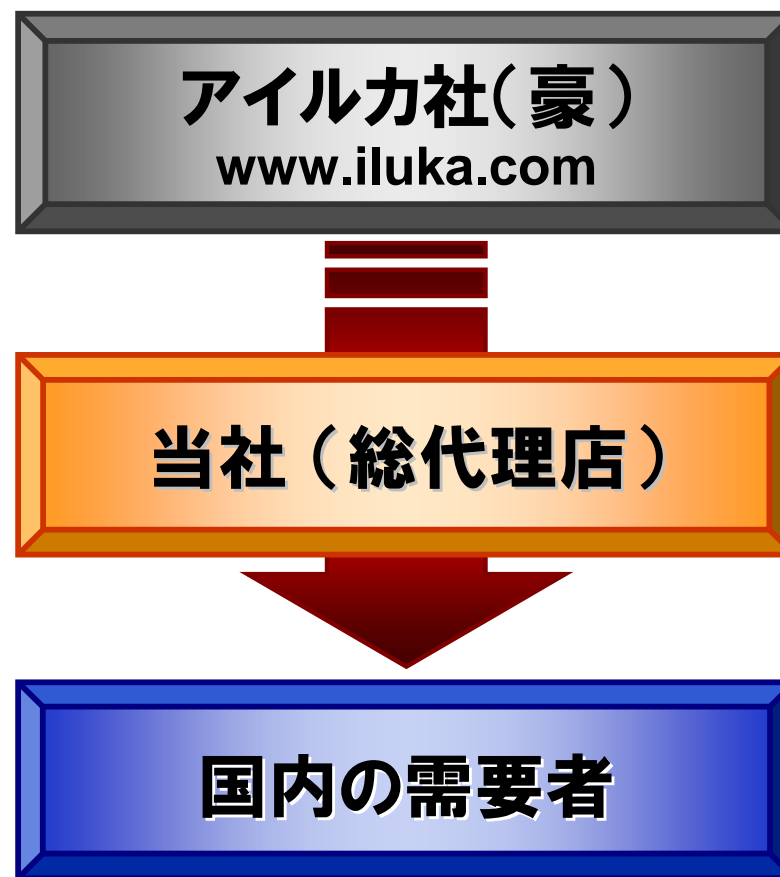
主な製商品 ① ジルコンサンド

当社はジルコンサンド取扱量で国内No.1企業

(生産量世界第1位のイルカ社(豪)と日本における総代理店契約を締結)



生産量世界第1位のイルカ社と
総代理店契約を締結し、日本国内で販売。



主な製商品 ② ワーマンポンプ

メンテナンス性に優れ、耐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス



材質の交換により
様々な液体に対応

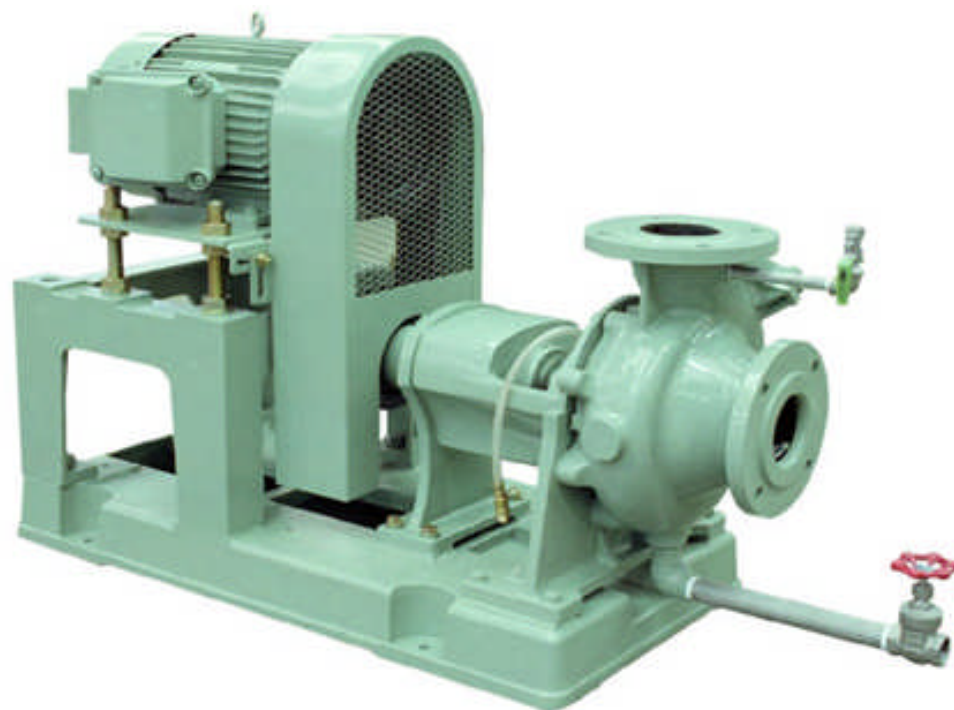
化学・電力・製鉄など
あらゆる産業で活躍

■主な納入実績

T社／四日市	約300台稼動
S製鉄	約1,000台稼動
T亜鉛／安中	約300台稼動

主な製商品 ③ ヒドロスタルポンプ

下水処理場などの排水を中心に活躍（官庁出荷も多数）



- 食品業界、製紙業界でも多数の使用実績

もともとは、
魚を無傷で送るために
特殊開発されたポンプ

- つまみにくい
- 空気が混入した液体も送れる

主な製商品 ④ 水砕スラグ製造設備 -1/2

水砕スラグ製造設備 = ラサ・システム

(製鉄所の高炉の付帯設備)



主な製商品 ④ 水砕スラグ製造設備 -2/2

鉄鉱石
コークス
その他原料



高炉で製鉄



銑鉄



製品として出荷



熔融スラグ



従前は埋立処分



ラサ・システム (RASA SYSTEM)



水砕スラグ製造

水砕スラグ



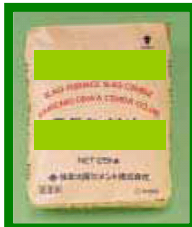
水砕スラグ



多方面にリサイクル活用



水砕ス



用語集 ① 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP（プラズマディスプレイパネル）の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鋳業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

用語集 ③ 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	<p>製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。</p>
IGCC	<p>石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO₂の排出量が最も少ない発電方式。</p>

用語集 ④ イズミ株式会社関連

用語	内容
塩ビコンパウンド	<p>「ポリ塩化ビニルコンパウンド」の略。</p> <p>「ポリ塩化ビニル」は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンとともに四大プラスチックの一つ。</p> <p>「コンパウンド」は、英語の「compound」で、「混ぜ合わせる」の意</p> <p>自動車の内外装部品、建材、電線のシース材などに幅広く使用されており、イズミ株式会社の主力商品の一つである。</p>
KES	<p>「環境マネジメントシステム」の規格。</p> <p>「Kyoto Environmental Management System Standard」の略。</p> <p>環境マネジメントシステムとしては、ISO14001が最も有名であるが、これと同様にKESは「グリーン調達」として、取得企業に対する優遇制度がある規格である。</p> <p>イズミ株式会社は2009年5月にこの規格を取得した。</p>